

社会安全政策研究所活動ニュース

本研究所が 2024 年 1 月から 2024 年 12 月までに行った主な研究活動は、以下のとおりです。

I. 共同研究（I-A）・「子供を守るための地域連携研究」の実施

2024 年度には引き続き、2018 年度に警察政策学会の一部会としても承認された「子供を守るための地域連携研究」を実施し、被害者化・加害者化から子供を守るための警察を起点とした地域連携に関する研究を実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

活動報告：

http://www.waseda.jp/prj-wipss/kodomochiiki_2018.html

II. 共同研究（I-B）・「大都市治安（安全安心）研究」の実施

2024 年度には引き続き、2016 年度に警察政策学会の一部会としても承認された「大都市治安（安全安心）研究」を実施し、新宿区を始めとした外国人集住都市の比較研究を通じ、より安全で安心なまちづくりを行うための政策等に関し検討を行いました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/index.html>

III. 共同研究（II-A）・「司法から福祉へつなぐダイヴァージョン研究会」の実施

「司法から福祉へつなぐダイヴァージョン研究会」を 2024 年も継続して実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

活動報告：

https://prj-wipss.w.waseda.jp/teichakuken_index.html

IV. 共同研究（II-B）・「英米法圏少年法研究」の実施

2024 年度からは WIPSS の一研究部会である「日豪犯罪処理システム比較研究会」と合体してその名称も「英米法圏少年法研究」に改め、英米法圏であるアメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリアなどの国々の少年法の動向に関する最新の状況について調査研究を実施しています。

2024 年度は「英米法圏少年法研究」を実施し、前年度に引き続き Susan Guarino-Ghezzi & Edward J. Loughran, “Balancing Juvenile Justice” の翻訳作業を行いました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/index.html>

V. 2024 年度早稲田矯正保護展の開催

2024 年 11 月 8 日（金）に、社会安全政策研究所を主催団体の一つとして、第 28 回早稲田矯正保護展（テーマ：「精神疾患を有する受刑者・保護観察対象者、医療観察制度対象者の社会復帰」）が開催されました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

https://www.waseda.jp/prj-wipss/hogoten_report_2024.html

VI. 定例研究会の開催

本研究所では、第 17 期（2024 年 1 月から 2024 年 12 月まで）として計 6 回の定例研究会を開催しました（原則として報告者は 2 名で、奇数月の第三土曜日に開催）。

報告タイトルは、以下のとおりです（各報告者の肩書は報告時のもの）。

1. 第 87 回定例研究会（2024 年 1 月 20 日開催）

(1) 「刑事司法と権利を基盤としたソーシャルワーク」

戸井 宏紀 招聘研究員（東洋大学福祉社会デザイン学部准教授）

(2) 「受刑者を親にもつ子どもについて考える」

矢野 恵美 招聘研究員（琉球大学大学院法務研究科教授）

2. 第 88 回定例研究会 (2024 年 3 月 18 日開催)

- (1) 「最近の国際情勢と国際法—イスラエル・ガザ紛争を素材として」
萬歳 寛之 研究所員 (早稲田大学法学学術院教授)
- (2) 「相続欠格と少年保護処分」
棚村 政行 所長 (早稲田大学法学学術院教授)

3. 第 89 回定例研究会 (2024 年 5 月 18 日開催)

- (1) 「子ども権利擁護センター (CAC) での実践～系統的全身診察, 司法面接, 付添犬～」
飛田 桂 招聘研究員 (弁護士, 認定 NPO 法人つなが代表理事)
- (2) 「大麻規制に関する歴史的経緯と改正法 (大麻草の栽培の規制に関する法律) の運用」
鷲野 薫 招聘研究員 (更生保護法人両全会企画室長)

4. 第 90 回定例研究会 (2024 年 7 月 20 日開催)

- (1) 「中国刑法におけるデータガバナンスとデータ保護」
李 程 招聘研究員 (渥美坂井法律事務所・外国法共同事業アソシエイト)
- (2) 「罪に向き合えるようになるには～動機づけの視点からの考察～」
藤野 京子 研究所員 (早稲田大学文学学術院教授)

5. 第 91 回定例研究会 (2024 年 9 月 21 日開催)

- (1) 「無人機器の日本の海上安全保障への影響」
瀬田 真 研究所員 (早稲田大学国際学術院准教授)
- (2) 「SNS を通じた青少年のサイバー犯罪と被害の実態調査から」
矢作 由美子 招聘研究員 (文教大学教育研究所客員研究員)

6. 第 92 回定例研究会 (2024 年 11 月 9 日開催)

- (1) 「Neurodiversity という考え方と更生保護—ヒトの学習機能を踏まえて

一」

江崎 徹治 招聘研究員（元警視庁通信指令官）

(2) 「民間人からみた再犯防止推進計画」

宮田 桂子 招聘研究員（弁護士，保護司，駒澤大学法科大学院特任教授）

VII. 研究員の異動

本研究所では，以下の研究員の新規嘱任・身分変更がありました（2025 年 4 月から 2026 年 3 月まで。50 音順）。

1. 新規嘱任

(1) 研究所員

なし

(2) 招聘研究員

島田 貴仁（滋賀大学データサイエンス学部教授）

町田 花里奈（愛知県立大学外国語学部中国語学科准教授）

2. 身分変更

なし

※なお，本研究所の活動につきましては，本研究所のホームページもご参照下さい（URL: <http://www.waseda.jp/prj-wipss/>）。